

郷土資料館だより

Vol.26. No.1

2003. 11. 10

〈5月22日開催のふるさと講座「みしま町を歩く」より〉
明治・大正・昭和初めの三島を訪ねてみましょう。(3ページ参照)

野戦重砲兵第三連隊正門
大正9年(1920)設置

現 市立北小学校
現 県立三島北高校

至裾野

現 市立北中学校

簡易裁判所

野戦重砲兵第二連隊歩哨舎跡
大正8年(1919)設置

三島駅
交番

愛染院跡
明治初めに廃寺となった
三嶋大社の神宮寺

県立三島北高校(旧地)
大正12年(1923)
~昭和32年(1957)

楽寿園

文化会館

三島商工会議所

生涯学習センター

昭和9年開業の三島駅
本年は国民体育大会に沸く

三島市郷土資料館

三島第一尋常高等小学校
(明治末~昭和初期)の地

三嶋大社

至箱根

楽寿館
明治23年(1890)小松宮別邸
として建てられる

三島信用金庫
昭和11年(1936)落成。

旧東海道

三島小笠原駅

関東大震災以降に
建てられた看板建
築の商店

三島市役所

至沼津

交番

腰切不動尊

至修善寺

農兵節の記念像(市役所)

三島田町駅

旧三島町めぐりMAP

企 画 展

企画展「みしま町(三島町)」(報告)

明治23年(1980)から昭和16年(1941)まで、三島市の中心市街地は「三島町」(みしまちょう)として、繁栄していました。

この時代、三島宿から軍都に変貌して軍人の町となり、昭和9年(1934)丹那トンネルの開通により東海道線三島駅が開業して三島町は県東部、伊豆の中心でした。

今回の企画展では、三島町の産業、人物、水の豊かな暮らし、旧三島町地域に残る伝統行事(ドンドン焼き、エビス講、盆行事、各神社の祭礼)を紹介しました。

水が豊かであった三島の風景に見入るご年配の方、珍しがる子供達で賑わいました。

会 期 平成15年3月16日(日)～5月25日(日) 入館者 8,397人

図録販売 A4版64ページ 頒価 800円



三島町 商店の看板 ◀



三島銀行資料 ◀



楊原神社の棟札 ◀

企画展「三島の文化財紹介(前期)」(報告)

先土器時代から戦後まで、伊豆の政治、経済、文化、信仰の中心であった三島にはさまざまな文化財が残されています。

今回の企画展では、前期は、近年発掘された奈良・平安時代の祭祀の跡を示す「人面墨書土器」(安久箱根田遺跡)を中心に三島市内の指定文化財を紹介しました。

後期は「三島宿風俗絵屏風」を中心に三島暦や玉沢妙法華寺の寺宝を紹介しています。

来館された方は、ほとんど目にする機会の少ない文化財に触れ、三島の歴史や栄華に思いをはせていたようでした。

会 期 (前期) 平成15年7月6日(日)～8月31日(日) 入館者 6,413人



人面墨書土器 (箱根田遺跡出土資料) ◀



祭祀用墨書土器他 (箱根田遺跡出土資料) ◀



灰釉陶器の壺・瓶 (箱根田遺跡出土資料) ◀

ふるさと講座

ふるさと講座「みしま町を歩く」

開催日 5月22日(木)
 講師 迫田 信行 氏 (郷土資料館運営協議会委員長)
 参加人数 23名
 コース 楽寿園駅前口→郷土資料館 (企画展「みしま町」見学) →小浜池前で楽寿館見学→愛染の滝 (三島高女跡) →JR三島駅前→北小校門前 (野戦重砲兵連隊跡) →北中校門前→鎧坂 (佐野街道について) →大宮パーキング (三島高女跡) →菰池公園 →梅御殿→白滝公園 (平井源太郎人物碑) →水辺の文学碑→祓所神社 (夏越の祓について) →三嶋大社→市ヶ原商店街 (「ムラカミ」前で看板建築の説明) →市役所大社町別館前 (花島家) →問屋場跡→懐古の碑 (第一尋常高等小学校跡) →三島信用金庫本店→御殿神社前 (菱屋旅館) →腰切不動前 (田町駅周辺の説明)



小浜池側からの楽寿館◀



北小校門前◀



北中校門前◀



今年度最初のふるさと講座は、企画展「みしま町(三島町)」の開催に合わせ、旧市内に残る三島町時代の足跡をたどりました。

ご存知のとおり、三島は東海道の宿場として繁栄しましたが、明治22年(1889)に開通した鉄道「東海道線」(当時は御殿場経由)の開通で大打撃を受け、窮乏しました。この危機から立ち直るため、連隊の誘致、北伊豆震災からの復興、丹那トンネルの開通と三島駅の開業、北上村・錦田村との合併などを通して、商人・職人の町として賑わいを取り戻していきました。

当日は、まず企画展「みしま町」の見学を行い、展示を見ながら郷土資料館長から三島町の基本的な説明を受けた後、実際に外へ出てそれぞれの跡を訪ね歩きました。

この日は歩いていると汗ばむ程の好天に恵まれ、予定したコースを無事終了することができました。野戦重砲兵連隊跡では、道を隔てて第2連隊と第3連隊で賑わった様子が伝えられ、水辺の文学碑の刻文に往時を偲ばせ、昼食会場となった梅御殿では、明治建築の趣のある建物の中でゆったりとくつろげたのではないのでしょうか。また、普段は何気なく見過ごしてしまうような場所についても、ひとつずつ講師から丁寧な説明を受けると、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けておりました。

今後旧市内、中郷、北上、錦田の各地区を訪ね歩く講座を企画していきたいと考えております。



三嶋大社◀

ワークショップ

郷土資料館ワークショップについて

今年度から参加者を限定せず「郷土資料館へ行けば誰でもいつでも何かが体験できる」ように郷土資料館内に体験コーナーを設け、郷土の伝統的な生活や遊びについて、大人も子供も自由に参加できる講座を開催していきます。

原則的には夏・冬休み期間の毎日曜日に、週替りメニューで行っていく予定です。親子やご家族での参加等、皆さまお誘い合わせのうえ、お気軽に参加していただければ幸いです。

では、さっそく今年度第1回目のワークショップについて報告します。

竹細工のおもちゃ作り

開催日 平成15年5月4日(日) 13:00~15:30

講師 瀬川 到さん 参加人数 20名

記念すべきワークショップ第1弾は竹細工のおもちゃ作りです。当日の内容は、竹細工のおもちゃの定番ともいえる「竹とんぼ」でした。

受け付けた人から席に着き、講師から「竹とんぼ」の材料が配られ作業開始。まずは羽根の部分を穴をあけ、表面を削って滑らかにし、次に芯となる竹ひごを削って羽根の穴に入れ、最後にボンドを塗布して終了。完成までおよそ15分程度でしたが、親子で熱心に作業している姿はとても印象的でした。でき上がった竹とんぼは、ぜひ外で思い切り飛ばしてもらいたいと思います。



竹細工 ◀



竹細工 ◀

裂(さき)織り体験



裂き織り ◀

開催日 平成15年5月5日(月・祝日) 13:00~15:30

講師 杉山 洋子さん 参加人数 9名

「裂き織り」は、麻や木綿のたて糸に、細く裂いて带状にした古布を、よこ糸にして織り込んだ布です。この織物は、昔から、主に東北地方や日本海側で、農作業や漁師の作業着として織られました。資源の有効再利用という点で、「裂き織り」は昔から行われている地球に優しいリサイクルといえるのではないのでしょうか。

さて実際の体験ですが、まずは講師から簡単な説明を受けた後、オサを両手で持ち、足を交互に踏み替えながら織っていきます。最初は足の踏み替えが思うようにいかず、なかなか進みませんでしたが、しばらくたつ間にリズム良く織れるようになりました。織り幅には個人差もありますが、一人およそ5~10分程度の体験で5cm程度織れました。ちょうど慣れてきた頃に終わってしまうこともあって、参加者からは「もっと体験したい」という声がたくさん聞かれました。織った部分はたて糸を外さない限り持ち帰りができませんので、ある程度の部分まで織ったら、館内に展示する予定です。

平成14年度 活動報告

| 区分 | 事業名 | 内容 | 実施日 | 入館者 (参加者) | 講師・備考 |
|----------------------------|---------------------------------|--|---------------------------|--------------|------------------------|
| 企画 画 展 示 | 「文化と生活のお宝 探訪～収蔵品展」 | 日頃、市民から郷土に関わる資料の寄贈を受けているが、公開する機会が少ないため、明治の杉戸絵、三四呂人形、浮世絵など収蔵資料の名品を紹介した。 | 4月27日(土) ～11月10日(日) | 20,640名 | パンフレット 作成 |
| | 3市博物館共同企画展 「石は語る～ 祈りと想い～」 | かつて人々は神仏を石に彫り、村のはずれや道の辻に立て、村や村人の安全を祈願した。今に残る県東部・伊豆半島の道祖神など路傍の石仏を紹介した。 | 11月17日(日) ～2月23日(日) | 7,557名 | 3市共同開催 パンフレット 作成 |
| | 「みしま町 (三島町)」展 | 宿場町から伊豆の中心地に変貌を遂げた三島町の明治・大正・昭和の変遷や、祭り、商店、町の暮らしなどを古写真及び商人の資料のほか、昭和初期の三四呂人形を交えて紹介した。 | 3月16日(日) ～5月25日(日) | 8,397名 | 図録作成 |
| 教 育 普 及 活 動 | 縄文土器作り(2回) | 縄文土器作りをとおして古代の生活に対する理解を深める体験教室 | (1)7月24日(水) (2)8月7日(水) | 14名 | |
| | 郷土教室(体験教室) | 染物を体験しよう | 7月13日(土) | 22名 | 高林保巨氏 |
| | | 機織りを体験してみよう | 7月31日(水) | 13名 | 熊井恵子氏 |
| | | 箱根西坂を歩いてみよう | 10月12日(土) | 23名 | 齋藤宏氏 |
| | | 凧を作ってみよう | 12月23日(月) | 25名 | 芹沢信吾氏 久保田豪氏 |
| | ふるさと講座 | ふるさと的人物碑めぐり | 9月26日(木) | 19名 | 迫田信行氏 |
| | | 石は語る一石の博物館めぐり | 10月31日(木) | 22名 | 富士市立博物館(学芸員) 奇石博物館 |
| | | 石は語る一箱根の石仏めぐり | 11月6日(木) | 34名 | 大和田公一氏 |
| | | 三島の石造物めぐり | 1月30日(木) | 20名 | 鈴木勝彦氏 |
| | 郷土資料館講座 企画展関連講演会 | 「石造物データベースから見えること～裾野の資料を中心に」 | 12月14日(土) | 33名 | 瀬川裕市郎氏 |
| 出 版 活 動 | 「郷土資料館だより」の発行 | 郷土資料館広報及び活動報告など | 年3回 | 各1,500部 | 無料配布 |
| | 企画展関連出版 | 「文化と生活のお宝探訪～収蔵品展」 パンフレット | | 2,000部 | 無料配布 |
| | | 「石と生活」 | | 1,000部 | 復刻 |
| | | 「みしま町」図録 | | 1,000部 | |
| 古文書研究 | 「三島宿本陣史料集(15)」 | | 300部 | | |

収蔵品修復

1. 凧(絵 大伴黒主) 1点
2. はたおり機 1点

購入浮世絵

1. 溪斎英泉画「三嶋驛十二」(美人東海道) 1点
2. 三代豊国画「東海道二宿書 箱根・三島」1点

寄贈品

平成15年3月から5月の間、次の方々からご寄贈いただきました。ご協力ありがとうございました。（敬称略）

上田伊兵衛（東本町）

| | |
|-------------|------|
| 秤 | 1点 |
| 河合 龍明（大宮町） | |
| 愛国婦人会関係資料 | 2点 |
| 帝国軍人後援会外委嘱状 | 2点 |
| 市制30周年記念乗車券 | 1点 |
| シルクハット | 2点 |
| 勘定帳 | 3点 |
| 地図 | 3点 |
| 写真 | 134点 |
| その他 | 29点 |

記念乗車券（三島駅をアレンジ）



木下 光江（大社町）

| | |
|---------------|----|
| 三島幼稚園写真 昭和3年頃 | 1点 |
| 瀬川真氏絵葉書 昭和3年頃 | 1点 |

佐野 稔夫（横浜市磯子区）

| | |
|----------------|----|
| 「徴兵検査済之證」昭和19年 | 1点 |
|----------------|----|



| | |
|----------------|----|
| 「徴兵検査通達書」昭和19年 | 1点 |
| その他 | 2点 |

丸平金物店（中央町）

| | |
|----------|-----|
| 種痘済證 | 1点 |
| 三嶋大社関係書類 | 5点 |
| 三島幼稚園書類 | 12点 |



| | |
|-----------------------|-----|
| 三島高等女学校書類 | 8点 |
| 三島尋常小学校書類 | 83点 |
| 三島商業学校書類 | 11点 |
| 沼津御用邸納品関係書類 | 1括 |
| 李王世子邸 見積書 大正2年 | 4点 |
| 「全国汽車発着時刻及賃金表」 | 1点 |
| 「豆相線列車発着及東海道線列車接続時刻表」 | 1点 |
| 「三島町糸繭商会営業仮款」明治34年 | 1点 |
| 「徴兵検査並検査後ノ心得」 | 1点 |
| 「玻璃器洋灯各種定価表」 | 2点 |

| | | |
|---------|--------|----|
| 硝子板価格案内 | 明治34年 | 1点 |
| 雛人形定価表 | 明治40年 | 1点 |
| 軍事郵便書簡 | 昭和15年頃 | 1点 |
| 空襲お見舞い | 昭和20年 | 1通 |
| 電気炊飯器 | 昭和30年代 | 1点 |
| 義手足器型録 | | 3点 |
| 麦茶冷やし器 | | 1点 |
| 電灯笠 | | 1点 |



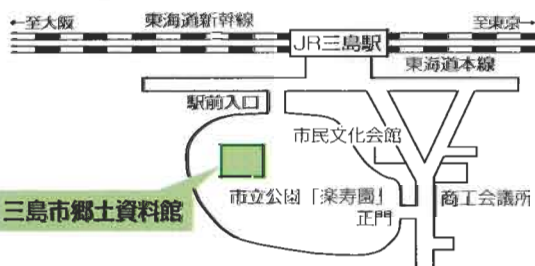
| | |
|-----------------------|-----|
| 銭湯蛇口 | 2点 |
| ささら | 2点 |
| 矢立 | 1点 |
| 氷囊掛け | 1点 |
| 広告看板 | 1点 |
| 奉公袋 | 1点 |
| 肥後守 | 1点 |
| 『女子国語読本 卷三』T.14 | 1点 |
| 『愛国婦人会史』T.7.5.15 | 1点 |
| 「大東亜共栄圏並びにその付近地図」S.16 | 1点 |
| その他 | 88点 |

山本 正治（大宮町）

| | |
|----------------|----|
| 『賀茂川神社略誌』昭和48年 | 1点 |
| 『昭和9年御重宝』昭和8年 | 1点 |

利用案内

休館日 毎週月曜日（祝日の時は翌日、12月27日～1月2日）
 開館時間 午前9時～午後4時30分（11/1～3/31まで）
 入場無料（但し、楽寿園入場の際、有料）



●三島駅（南口）から徒歩5分。市立公園楽寿園内

郷土資料館だより VoL.26 No.1 (第76号)

発行日 平成15年(2003)11月10日
 (年3回発行)
 編集 三島市郷土資料館
 〒411-0036 三島市一番町19-3
 楽寿園内
 TEL 055-971-8228
 FAX 055-981-3730
 E-mail: kyoudo@city.mishima.shizuoka.jp
 URL: http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo
 発行 三島市教育委員会